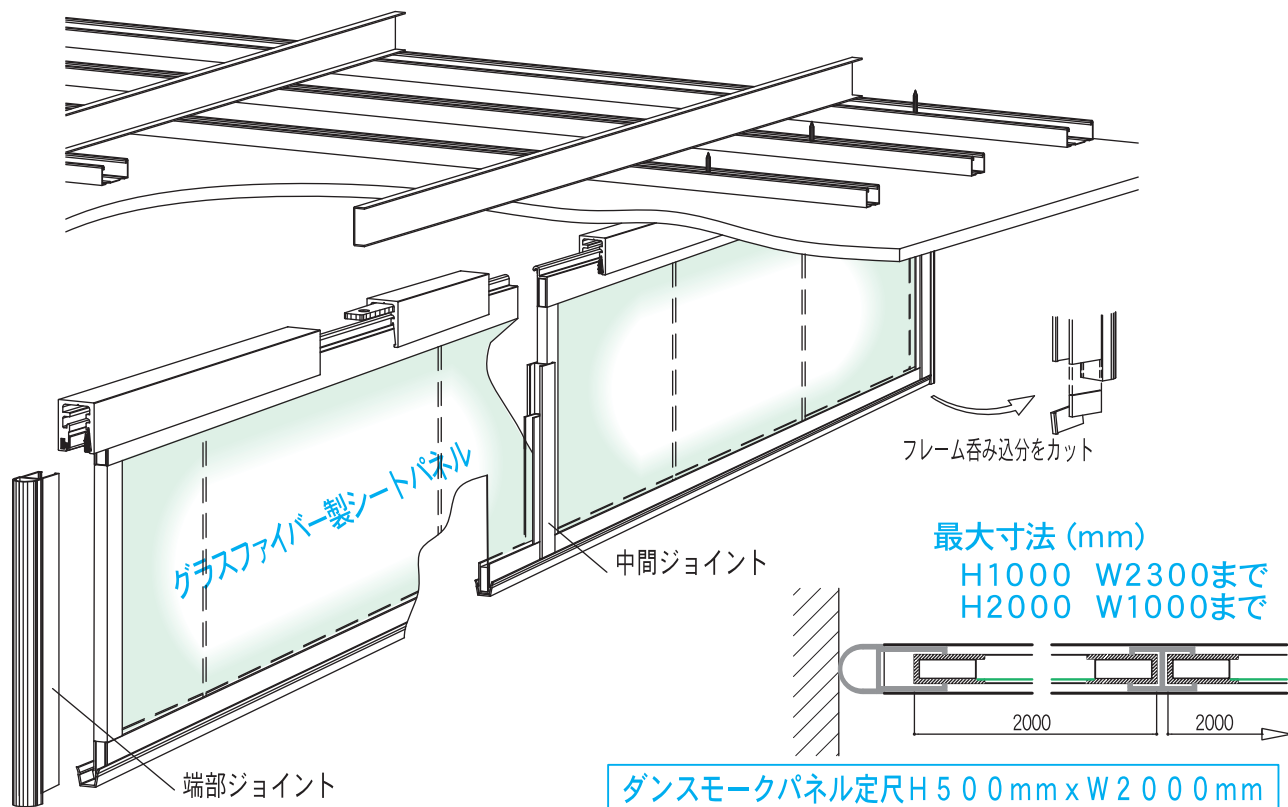
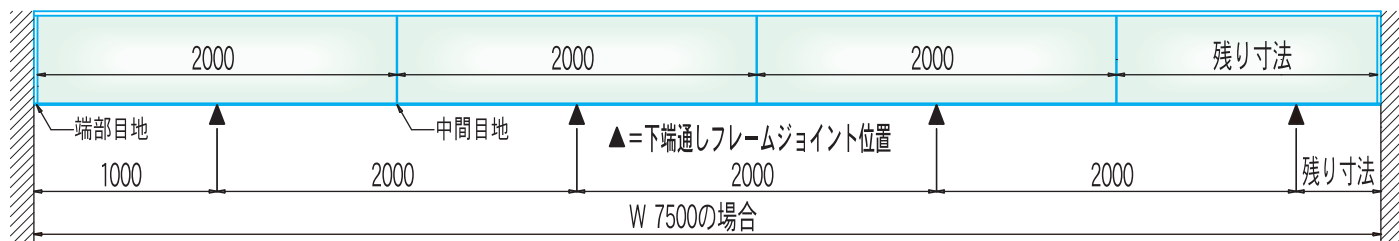


M式「ダンスモーク」®

引っ掛けタイプ・吊り子タイプ



基本割付図———定寸パネル片押しが基本です。



M式「ダンスモーク」®施工手順

● 金物取付

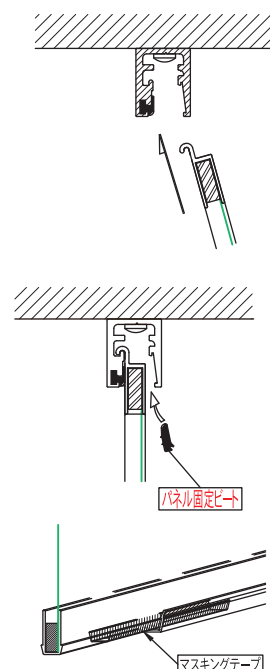
1. 取付予定位置に軽鉄下地（野縁）が設置されている事を確認する。
2. 軽鉄下地の位置を確認し天井レールをビス止めする。（軽天ビス3.5φピッチ450ミリ以内）
3. 複数本の取付はレールジョイント金具（平ジョイナー）を使用し、通りに注意しながら取付る。
4. 取付完了後、目視にて通りを確認する。

● パネルの取付

5. パネルに付いた養生シートを外し天井レールの先付ガasket（黒）の内側が見える方よりパネルの引っ掛け側をガasketに向け斜めに差し込む。
6. パネル固定ビート（黒）をセットする。（**パネル固定ビートの表裏に注意**）
7. 端部ジョイントに続き中間ジョイントを取付ながらパネルをセットしていく。
8. 下端通しフレームを端部よりセットする（ジョイント部にマスキングテープ 18mmを貼りその上からフレームを被せる）
9. 通りを確認し完了する。

● 事前の打合せ事項

1. 防煙垂壁と野縁が平行の場合、軽鉄下地施工時に垂壁の真上に野縁（Wバー）を設置依頼。
2. 天井レベルが波打つ場合に垂壁の取付が出来ないことがあるのでレベルを通す様天井業者に確認。
3. パネルの基本的な割付は端部より定寸パネルの片押しです。現場担当者へ要確認。
4. パネルは傷がつき易いので取扱いに注意を徹底してください。



特長

1. 軽量
ガラスの10分の1 (標準タイプW2000×H500での比較)
2. 割れない
グラスファイバー製シートなので割れない。
3. 透明
透光率90%
4. 厚さ
0.12mm

仕様

	W	重量
標準タイプ	2000	1.7kg/枚
H:1000未満	200~2300	-
H:1001~2000	200~1000	-

ダンスモークパネルは、厚さ0.12mmの極薄のフィルム状グラスファイバーシートをアルミの枠に張り込んだものです。下記のような場合にはしわが目立つ事がありますが、いずれの場合も本来の機能を損なうものではありません。

① 光源がフィルム表面に映りこんでいる場合

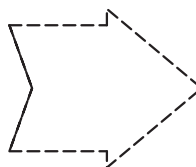
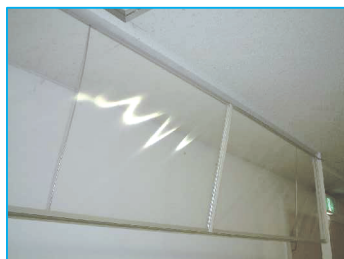
② パネルのH寸法が大きい場合

③ 15℃以下の低温環境。(低温じわ)

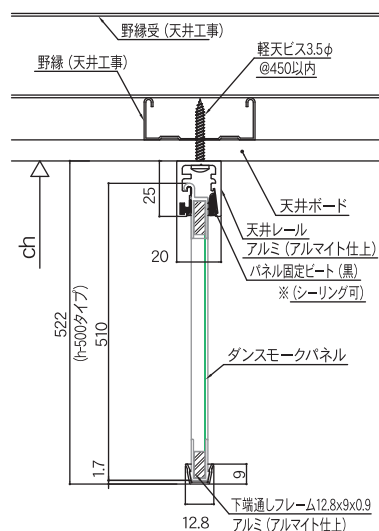
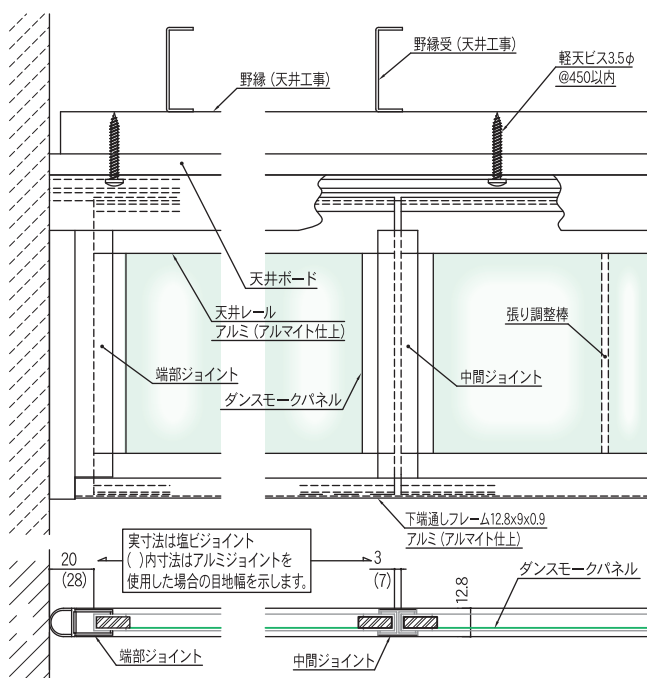
アルミとグラスファイバーシートの伸縮率の差によるもので20℃程度の常温に戻るとしわは元に戻ります。

端部強制変形時の様子

シート材なので割れません。
(変位を戻すとほぼ回復します)



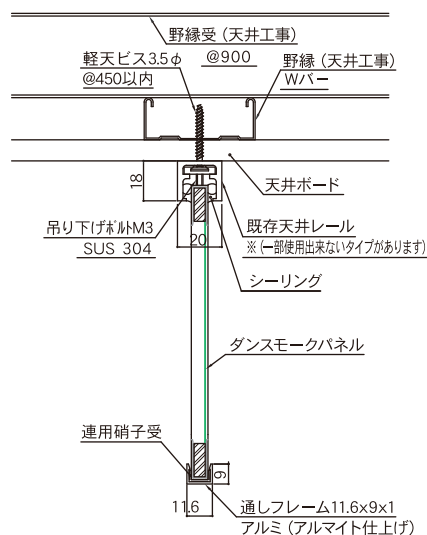
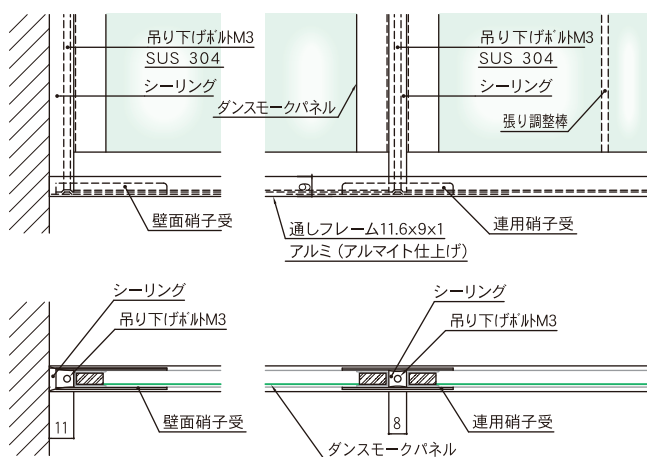
引っ掛けタイプ



・張り調整棒…パネルの剛性保持及び軽微なしわは調整可能

ノンシリコンで簡単施工

吊り子タイプ



既存垂壁にも取付可能